



広報

大熊町役場会津若松出張所

8月1日発行／大熊町役場総務課 所在地：福島県会津若松市追手町2番41号 ☎フリーダイヤル：0120-26-3844(代)
E-mail：okuma@town.okuma.fukushima.jp／ ブログ大熊町 <http://blog-okuma.jugem.jp/>
大熊町公式ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

今月の主な内容

- 大川原地区での先行除染結果について ②～③
- 長期避難者等の生活拠点の検討に係る個別協議会(第2回いわき市部会)の開催について ④～⑤
- 町のうごき ⑥～⑦
- 町民のひろば ⑧～⑨
- KIZUNAおおくまふれあい通信 ⑩～⑭
- お知らせ ⑮～⑲
- 保健だよせり ⑳
- 町民の掲か ㉑
- あらかる ㉒

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま



8

提灯御輿巡行

—おおくま・甲和会合同夏まつりin長原—

2013〔平成25年〕No.493

大川原地区での先行除染結果について

大熊町の区域再編に伴い、復旧・復興の拠点として検討している大川原地区において、平成24年12月から国（環境省）が実施主体となり、先行除染事業が行われてきました。

この先行除染が平成25年6月末をもって完了しましたので、その結果について報告します。

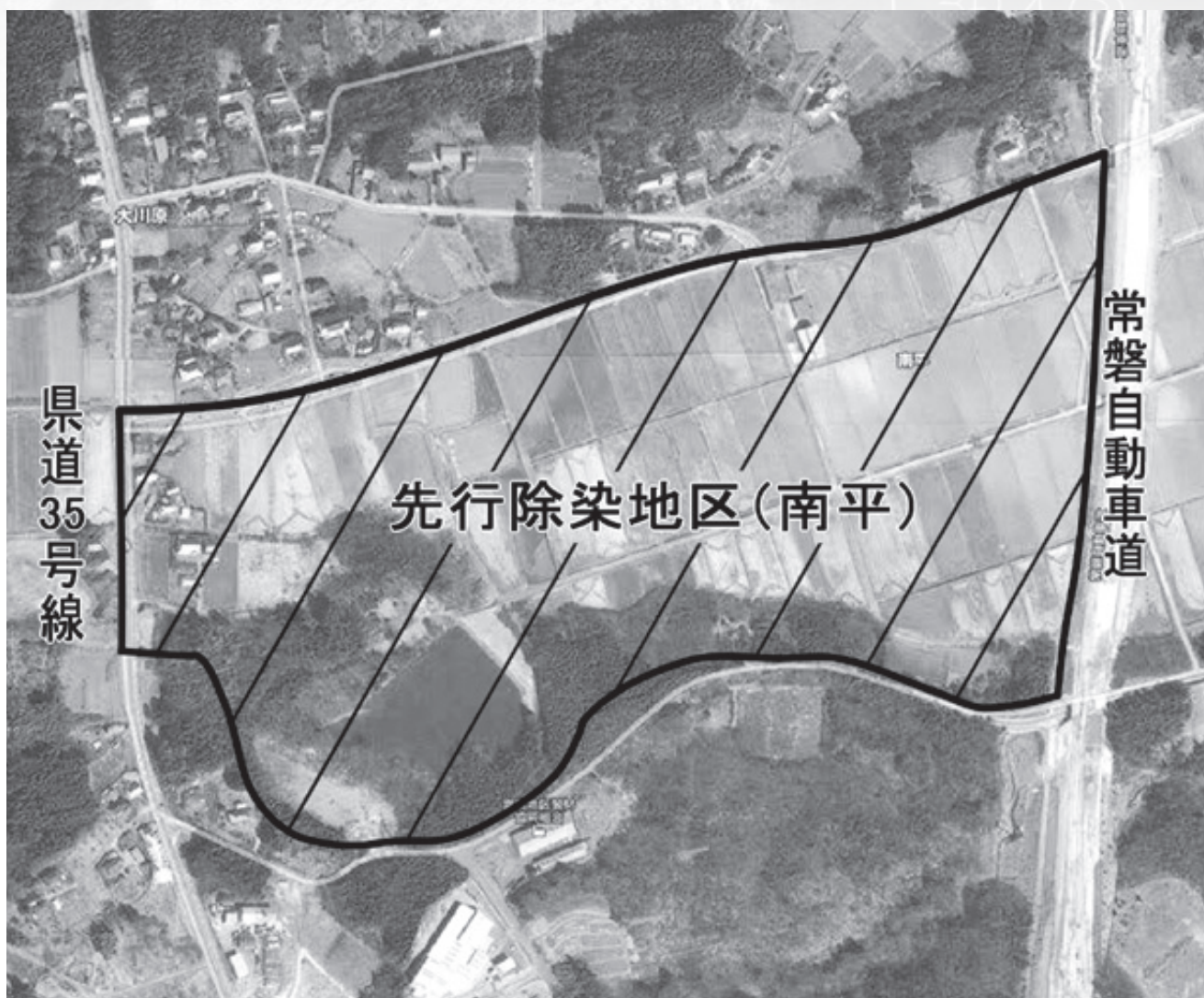
なお、町としては、今回先行除染を実施した大川原地区以外の町内についても除染を進めるよう、国に対して要望を続けていきます。

また、今後の計画や経過については、国から公表され次第、広報誌やホームページ等でお知らせします。

事業の概要

- ・ 期 間 平成24年12月6日～平成25年6月28日
- ・ 実施事業者 清水建設株式会社
- ・ 作業員数 1日最大218人（延べ約15,007人）
- ・ 除染面積 25ha（農地16ha、森林7ha、道路2.1ha（住宅5棟含む））

大川原地区の先行除染範囲



除染の結果

結果については、広報誌裏面のあらかるとに掲載しています。

除染作業の様子



家屋除染（軒樋洗浄）



道路除染（同時吸引高圧洗浄車）



農地除染（除草）



農地除染（表土削り取り）



森林除染（枝等の破碎）



仮置場

【お問い合わせ先】 福島環境再生事務所 会津支所 電話：0242-23-7970
大熊町役場 復興事業課 電話：0120-26-5671



▲先行除染現場を視察する石原大臣



▲墓地除染の様子

大川原地区で進められていた先行除染が6月末で完了し、除染を終えた農地の状況や、除染によって出た草や土の仮置場の設置状況などを確認しました。

また、墓地除染が行われていた下野上地区の鈴内公営墓地も訪れ、倒れた墓石の移動や、墓地内の除染作業などを視察しました。

石原伸晃環境大臣が7月3日、大川原地区を訪れ、渡辺町長とともに先行除染現場を視察しました。

石原環境大臣は「この事業は、渡辺町長が町民の声を聞き、どうしてもお墓参りをさせてあげたいとの思いから環境省にご要望いただいたものです。お盆に向けて町民の皆さんが安心してお墓参りができるよう、しっかりと取り組んでまいります」とあいさつし、雨が降りしきる中、泥だらけになって除染にあたった作業員を激励しました。

石原環境大臣が 先行除染現場を視察

長期避難者等の生活拠点の検討に係る個別協議会 (第2回いわき市部会) の開催について

長期避難者等の生活拠点の検討のための個別協議（いわき市部会）が7月12日、郡山市の大槻北公民館で開催されました。この協議は、6月に第1回目をいわき市内で開催し、今回は第2回目の開催となります。

今回は、長期避難が予想される富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の各担当課長等と福島県避難地域復興局が集まり、いわき市に整備を予定している県営復興公営住宅の整備方法等について協議しました。

この協議は今後も開催され、県営復興公営住宅の建設場所や入居者の募集方法等を検討していくものであり、長期避難が予想される4町の方針を決定しながら、さらには国やいわき市と協議を行っていきます。

また、現在福島県は、県内に概ね3,700戸の県営復興公営住宅を整備する予定としており、そのため受入市町村を中心とした「長期避難者等の生活拠点の検討のための協議会（個別協議）」を順次開催しています。

大熊町としては、現在のところ「いわき市」、「郡山市」、「会津若松市」、「田村市」の4市の個別協議に参加する予定であり、長期避難が予想される町民の皆さまの生活拠点を早期に整備するため、これからも国や県、各市町村と協議を進めていきます。

また、協議の進捗状況等については、今後も広報や町公式ホームページの復興サイトなどでご報告します。

整備戸数・箇所

- ・全体で概ね3,700戸を整備します。
- ・整備箇所、整備戸数は、平成25年5月7日に復興庁が公表した住民意向調査結果等を基にしています。「調査への未回答」や「現時点で判断ができない」等の変動要因も考慮しています。
- ・以下の市町村別の整備戸数は、関係市町村との個別協議を行うに当たっての目安であり、今後の協議において決定していきます。

いわき市	南相馬市	郡山市	福島市	会津若松市	二本松市・桑折町・川俣町・大玉村・三春町 ほか
概ね 1,800 戸	概ね 410 戸	概ね 390 戸	概ね 170 戸	概ね 100 戸	概ね 830 戸

- ・また、今回の計画は第一次計画とし、今後、再度の住民意向調査や意向確認作業等による修正を重ねながら精度を高め、関係市町村との個別協議の内容を踏まえて、第二次、第三次と計画を見直していきます。

※整備戸数には、先行整備の県営分500戸及び市町村営分を含んでいます。

スケジュール

- ・平成27年度までの入居を目指し、整備を進めていきます。
※用地確保の状況によってスケジュールは変わる可能性があります。
- ・設計施工一括選定方式や買取方式等の民間活用方式を取り入れ、整備期間の短縮を図っていきます。

標準設計プランのイメージ



居室内



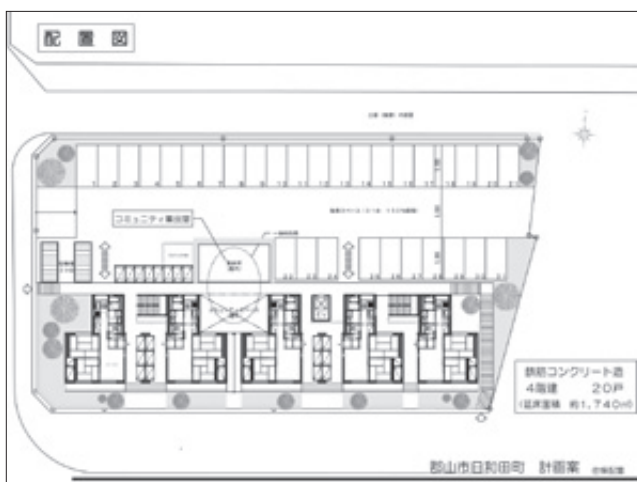
コミュニティ集会室



エレベーター



廊下



配置図



平面図

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 企画調整課
フリーダイヤル：0120-26-3844

放射線学習会を開催

町民の方を対象とした放射線学習会が6月23日、東京大学名誉教授の柴田徳思先生をお招きし、大熊町役場会津若松出張所で開催されました。

学習会は、会津若松出張所を含め県内4会場で開催され、放射線の影響や様々なリスクとの比較を交えて分かりやすく講演していただきました。

また、参加した皆さんからは「農地や住居だけの除染で線量は減少するのか?」、「飲食物の放射性物質基準値の根拠は何か?」などの質問が出され、放射線への興味の高さがうかがえました。



学習会の様子



コシノジュンコさん

コシノジュンコさんから絵の依頼

ファッションデザイナーのコシノジュンコさんが6月26日、大熊町の子供達に絵画作品の製作を依頼するため、会津若松出張所を訪れました。

この事業は「Opa! 陽気な黙示録」展と題して、国交105年目を迎える日本とブラジルの新たな文化交流を目指して企画されたもので、両国の子どもたちによって5,000枚もの作品が描かれる予定です。

コシノさんは「子どもたち自身はブラジルへ行けなくても、自分たちの作品が海を渡って展示されることで夢が広がる」とあいさつしました。

子どもたちが描いた作品は、11月～1月までブラジル・サンパウロの美術館に展示されます。



作品のイメージ

真室川町区長会と防災についての意見交換

山形県真室川町の区長会が6月27日、扇町1号公園仮設住宅を訪れ、防災等についての情報交換を行いました。

この日は、同仮設住宅自治会の塚本会長と馬淵副会長にご出席いただき、震災時の様子や原発事故の避難状況、賠償問題などについて説明していただきました。

真室川町区長会は「住民への情報伝達手段の重要性を改めて認識しました。有事の際には区長がリーダーシップを発揮し、住民を主導することが大事であると感じました」と、防災についての認識を深めた様子でした。



情報交換の様子

町のうごき



参加者全員で

フレンドリー教室で雄国沼を散策

フレンドリー教室が7月6日、深緑に囲まれた北塩原村の雄国沼で開催されました。フレンドリー教室は毎月、青少年のリーダー育成事業として開催されています。

この日の教室は、教室生10人と前年度教室生2人が参加し、自然散策で会津地方の動植物の観察を行い、泉篤指導員から毒のある植物と食べられる植物の見分け方などの説明を聞くと、競い合うように植物を探していました。

また、散策中、辺り一面に敷き詰められた「ニッコウキスゲ」の黄色い絨毯を目の当たりにした子どもたちはとても驚いた様子で、夢中になってカメラのシャッターを切っていました。

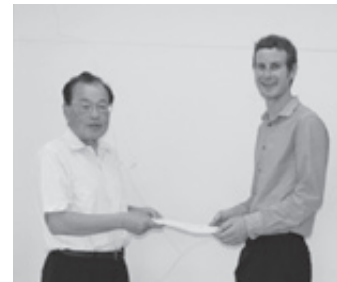
また、散策中、辺り一面に敷き詰められた「ニッコウキスゲ」の黄色い絨毯を目の当たりにした子どもたちはとても驚いた様子で、夢中になってカメラのシャッターを切っていました。

英語指導助手が着任

オーストラリア・バサースト市からビドル・ジョン・ラッセルさんが7月10日、英語指導助手として着任しました。ジョン先生は、これまで英語指導助手をしていただいたエミリー先生の後任として、平成26年7月31日までの任期で幼稚園や小学校、中



歓送迎会の様子



着任式

学校の英語を指導していただきます。

またこの日は、おおくま国際交流協会主催による歓送迎会が盛大に行われ、ジョン先生を温かく迎え入れるとともに、これまで尽力していただいたエミリー先生の帰国を惜しんでいました。



熊川海岸を捜索

福島県警合同特別捜索を実施

福島県警と富岡消防署合同による行方不明者一斉捜索が7月11日に行われ、大熊町消防団からも11人の団員が参加しました。

双葉警察署臨時庁舎前で行われた出発式で中川双葉警察署副署長は「行方不明になられている方が一人でも多くご家族の元へ帰ることができるように、皆さまのご協力をお願いします」とあいさつし、数隊に分かれた捜索隊が津波被害を受けた地域へ向かいました。

消防団員を含む捜索隊は、熊川海岸と小入野海岸を重点的に捜索し、防護服の中が汗だくになりながらも、がれきの下やテトラポットの隙間などを丹念に捜索しました。

健康で楽しく働ける、豊かなまちをつくりましょう。
みんなで助けあい、明るいまちをつくりましょう。
きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
進んで学び、香り高い文化のまちをつくりましょう。

幼稚園児が さくらんぼ狩りを体験

大熊幼稚園の園児たちが6月26日、会津坂下町の佐藤農園でさくらんぼ狩りを体験しました。

園主の佐藤英さんから実の採り方を教わると、園児たちは元気よく畑の中へ進んで行きました。

園児たちの手が届く高さの枝にもたくさんのさくらんぼが実っており、手を伸ばして真っ赤なさくらんぼを採ると、園児たちは目を輝かせながら頬張っていました。

「あまい」、「おいしい」と歓声を上げながら畑の中をところ狭しと動きまわり、旬のさくらんぼをたくさん味わっていました。



さくらんぼの採り方の説明



さくらんぼ美味しいよ！

「おおくま・甲和会合同夏まつり in 長原」を開催

—一箕町長原地区仮設住宅—



祭りを盛り上げた皆さん



祭りを楽しむ参加者

「おおくま・甲和会合同夏まつりin長原」が7月14日、会津若松市一箕町長原仮設住宅で開催され、会津若松市内だけでなく県内外からも町民が集い、一足早い夏まつりを楽しみました。

この催しは、東京都江戸川区の小岩地区を中心として祭りへの出店や提灯御輿巡業で地域に貢献している甲和会からの支援を受け、昨年も8月に盆おどりを実施した一箕町長原仮設自治会が、たくさんの町民の皆さんに集まってもらおうと開催したものです。

会場で甲和会が出店したヨーヨー釣りやパターゴルフなどのゲームや、焼きそば、豚バラ串焼き、じゃがバターなどのお祭りならではの食べ物は、集まった町民を楽しませました。

夕刻より始まった盆おどりでは、地元会津中央病院の皆さんも参加し、「会津磐梯山」「相馬盆唄」の笛や太鼓に合わせ、大きな踊りの輪ができました。

祭りのとりを飾った提灯御輿は、子どもから大人まで代わる代わる担ぎ、その威勢の良いかげ声と心地よい汗は、つらい避難生活の悩みをふきとばし、集まった町民を笑顔にしました。

町民のひろば

ちびっ子腕相撲大会を開催

ワールド女子プロレス・ディアナ所属の女子プロレスラーである井上京子さんらが6月29日、会津若松市内の仮設住宅を巡り、ちびっ子腕相撲大会を開催しました。

この腕相撲大会は、井上さんの「震災や原発事故で避難している子どもたちを、少しでも元気づけることができた」という思いで開催されたものです。

集まった子どもたちは、負けたことが悔しく何度も挑み、大人たちは懐かしい往年のプロレスラーの話題に花を咲かすなど、楽しい時間を過ごしていました。



負けないぞ！



かなりいい勝負！



大会出場を報告する原田さん3姉弟

3人そろって全国大会出場！

昨年に引き続き卓球の全国大会出場を決めた原田優芽さん（大野小6年）と原田春輝さん（大野小4年）、原田優衣さん（大野小1年）が7月2日、会津若松出張所の町長室を訪れ、大会出場を報告しました。

今年は3人そろって予選大会を優勝して全国大会への出場を決めており、「全国大会でも優勝したい」と力強くコメントしました。

渡辺町長は「3人そろっての優勝は素晴らしいことです。みんなの活躍で元気をもらえますので、全国大会でも頑張ってください」と激励しました。

全国大会出場を報告

神奈川県で行われる全日本レディースバドミントン選手権大会への出場を決めた佐久間純子さんが7月2日、会津若松出張所の町長室を訪れ、大会出場を報告しました。

佐久間さんは、4月に行われた県予選で見事優勝し全国大会への切符を手にしており、「一つでも多く勝てるように頑張ります」と意気込みを語りました。



出場報告する佐久間純子さん

KIZUNA おおくまふれあい通信

第4号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。



ナイター陸上記録会



長者原じゃんがら念仏踊り



熊川稚児鹿舞

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 福島市

きむら ようこ

木村 蓉子 さん

自宅は町区。避難や一時帰宅の体験記などをまとめ自費出版。

現在、福島市内の長女宅に生活している。



震災発生からの同年3月15日までの間は、80年以上生きてきた私の人生で、そのうちの何十年にも相当するような5日間になりました。

一昨年1月、県立医大付属病院でひざの手術を受けた私は、同2月末にリハビリのために双葉厚生病院に転院し、震災発生当日は、その入院も残すところ1週間となったところでした。3階の病室で午後の回診を待っていた時、大地震に襲われました。揺れがおさまった後、院内の避難で、駐車場、屋上、大広間と移り一夜を過ごしました。

翌朝、自衛隊のジープで病院を離れました。車高が高く自力での乗車ができず、自衛隊員に抱きかかえられての乗車となりました。当初、行先は川俣町と告げられていましたが、浪江町との境界付近でバスに乗り換え、浪江町内の老人保健施設への向かいましたが、施設側では、私たちの到着についての情報を得ていないようで困惑気味でした。同施設には、多くの避難者が集まっており、他の医療機関や老人保健施設等の入院・入所者、津波で負傷した方などで大混雑でした。また、そうした負傷者の中には、目の前で家族が犠牲になったり、集落ごと流されたと涙ながらに話す姿もありました。

同14日、防護服にマスク姿の人が出入

りするようになり、その夜、あわただしくバスに乗り、まず、南相馬市でスクリーンングを受け、他のバスで那須甲子少年自然の家（西郷村）に向かい、ここでは降りることなく光洋高校（いわき市）に到着しました。そこで、同じ車内に乗車していた方の携帯電話が通じるようになり、その携帯を借りて娘に電話をしたところ、いわき市内の親類が迎えに来てくれ、郡山市内の温泉ホテルに向かい、久々に何の遠慮もなく入浴し、暖かい食事をとって、布団に入った時、生きていて良かったと改めて感じました。そして、同月下旬から娘の自宅に移り現在に至っています。

こちらに来てから、庭の一部を畑にして野菜づくりをはじめました。日々、仕事で忙しい娘は、私という「主婦」ができ、庭の畑からの「産直野菜」を楽しめる生活に満足している様子です。また、避難以降の体験をまとめ、「3・11大震災体験記」と「一時立入り帰宅の記録」をそれぞれ冊子にしました。

わが故郷は放射能汚染のため大部分が帰還困難区域になりました。本当に住めないのでしょうか。若い方々は無理でも、「直ちに影響が無い」のであれば、私のような「健康な老人」には帰還の選択肢があっても良いのではと思うこともあります。



福島県 須賀川市

かまだ きよえ
鎌田 清衛 さん

自宅は野馬形区。同区長で梨農家。独自に、震災や地域の歴史などを記録する活動をしている。現在、妻、母と共に須賀川市内の借上住宅で生活している。



私は、長年にわたって有機質肥料だけにこだわり梨を栽培してきました。避難により手をかけてきた畑の放棄と放射能汚染を強いられるため、農業をたたくことにしました。

私たち夫婦は、畑で梨の手入れ中に被災しましたが、3年ほど寝たきり状態になっていった母が自宅にいたため、心配で自宅に戻りました。幸い、寝ていたベッドが地震の揺れで動いたものの無事でした。同居していた長男は県外に出かけており無事でした。その後、行政区長として区内の見回り、避難所の開設、津波避難者・負傷者への対応していたところ、原発の非常事態により当地区は避難となったため、手分けして区内全世帯にスポーツセンターへの避難を知らせて回りました。

夜になると多くの町民が同センターに集まっていました。寝たきりの母を連れてこられる状況にはなく、ワゴン車に母を乗せ、介護用品や薬などを積み込み、町西部にある妹の嫁ぎ先に世話になりました。翌朝、スポーツセンターに行ってみると、避難範囲は原発から半径10キロに拡大しており、国か県の職員らしき男性から「原発が危険な状態なので、車の人はいくまで個人の判断で避難せよ（主旨）」と告げられました。咄嗟にメルトダウンが心配になり、妹たち家族と共に町

を離れました。田村市内の施設で数日過ごしましたが、母の容体は悪化の一途で、このまま最期となってしまふのかと覚悟した時もありました。そんな中、須賀川市内に避難した妹から物件が見つかるとの連絡を受け、避難所を出て、一昨年3月17日に現在の住まいに移りました。当地は地震の被害がひどく、ライフラインが寸断されている中、医療機関を探し回って母を診てもらいました。現在では、おかげさまで在宅ケアやショートステイを受けながら暮らせる状態になっています。

母の状態も安定して、ほぼ震災前の状態になり、私たち夫婦の気持ちも被災当初に比べて落ち着いたような気がします。妻は時折、体の不調を訴えることもありますが、私は、そうした状況に伴い、釣り、当地の博物館の愛好会や研究会への参加といった長年の趣味を再開したり、避難後、身の回りについて記してきたノートを整理して記録化するなどしています。

今後、補償・賠償等の進展により、町外に新しい生活拠点を築く方が増えると思います。震災まで特に気にすることがなかった祖先から受け継がれ地域に伝わる慣習や旧跡など、たとえ住めなくとも、「心のよりどころ」になるようなことは、将来世代のためにも残すべきではないでしょうか。今すでに、そうした時期に入っていると思います。



栃木県 鹿沼市

まつもと こうせい

松本 光清 さん

自宅は熊川区。地域に伝わる伝統民俗芸能「熊川稚児鹿舞」の復活に向け始まった子どもたちの練習に指導者として参加している。（写真円内は、会津若松市内の仮設住宅集会所で行われた練習の様子）



この春から、熊川地区に伝わる「熊川稚児鹿舞」の練習が2年ぶりに再会されました。津波で道具類の一切が流され、踊り手をつとめる子どもたちは、原発事故による避難のため各地にバラバラになってしまいました。避難してしばらくは、長年受け継がれてきた鹿舞もこれで終わってしまうのかと残念な思いでした。

そうした中、震災で被害を受けた無形民俗文化財の再建に公的助成を受けられることになり、道具類の再製作などに着手しました。また、熊川地区から避難している子どもがいる世帯に声をかけたところ、数名の子どもたちが参加に手を上げてくれました。今は、おおむね月2回、週末の昼間に長原仮設住宅（会津若松市）の集会所を借りて練習を行っています。

私は、現在、栃木県鹿沼市内で避難生活を送っています。避難後も頻繁に福島県と避難先を往復していましたが、鹿舞の練習が始まったため、より頻繁になりました。

鹿沼市には、双葉郡内だけでなく南相馬市からの避難者もあり、福島県からの避難者が比較的多い場所です。そうした避難者の有志による自助組織「福震会」に参加しています。また、お世



仮設住宅で暮らすお年寄りたちに
見守られながらの鹿舞の練習

話になっていいる鹿沼市に少しでも恩返しができればと、まちなか交流施設でボランティアスタッフをしています。その他、同市のソフトボールチームにも加わっています。

来る8月10日、鹿沼市の夏祭りに、熊川地区の有志で参加することになりました。笛や太鼓を携え、相馬盆踊りを披露する予定です。地区の有志とはいえ、全員が避難で散らばっていますし、被災以降、集まって演奏をしたわけではなく「ぶっつけ本番」で臨みますが、笛も太鼓も踊りも、子ども頃から「鹿舞」の練習を通して培った「阿吽（あうん）の呼吸」で、夏の空に故郷の思いを響かせたいと思います。



福島県 会津若松市

あべ じゅんぺい

阿部 淳平 さん

自宅は大野1区。今年6月、会津地方の借上住宅で生活する避難者の自治会「おおくま町会津会」の立ち上げに参加し、会長を務める。

現在、会津若松市内の借上住宅に妻と生活している。



私たち夫婦は、近所に住む孫（長男夫婦の次女）をつれて避難しました。震災翌日の朝、田村市内の避難所に向かいました。出発が早かったため、避難渋滞に遭うことも無く、早々に到着しましたが、一緒にいる孫の安全を考えると、少しでも原発から離れたいと考え、避難所から郡山市内の親類宅に移り、会津若松市内に住む友人にアパート探しを頼み、見つかった物件に入居しました。その後、長男夫婦は仕事のため、孫たちを連れていわき市に転居しました。

一昨年6月、町役場会津若松出張所の近くに避難者の交流スペース「おおくまサロン・ゆくりすつぺ」の開設にあたり、運営ボランティアスタッフとして参加しました。当時は役場に支援物資の受取や手続等に訪れる人たちが、その行き帰りに立ち寄ることが多い時期でした。特に、借上住宅で生活する人たちは、慣れない土地で近所に知人友人も無く、そして何より情報が入ってこない。そうした環境に苦しんでいました。しかし、サロンに立ち寄る方はまだいいほうで、中には、孤独のあまり引きこもってしまう方もいます。近所でいわきナンバーの車を見かけることはしばしばあっても、どこに誰がいるのかすら分かりません。避難生活者の孤独について報道される

中、自分たちも何とかしていかなくてはならないと、日頃、交流のある仲間が中心になって、今年の3月頃から自治会設立に向けて声をかけ始めました。そして、ついにこの6月、自治会「おおくま町会津会」が発足しました。現在、会員は会津地方で避難生活を送る人45名で、毎月2回（第1・3水曜日）、サロンを中心に活動しています。活動の内容は、月2回のうち、1回は会津地方の史跡や名所めぐりといったような外の活動、もう1回は各種セミナーや講習・研修会などを行っています。

避難後、各地に避難者自治会が設立されており、今後は、自治会同士の交流も行い、原発事故による補償・賠償など、生活再建にむけて、情報交換するなど、活動を深めていきたいと思えます。



皆さん、気軽に声をかけてください
(サロンに集まった自治会メンバー)

甲状腺検査について

福島県が実施している県民健康管理調査「甲状腺検査」として、震災当時18才以下だった方は、20才までは2年おき、それ以降は5年おきに甲状腺検査を受けることができます。

大熊町では、県民健康管理調査「甲状腺検査」の対象とならない方や、検査の間隔が2年では心配であるという声を受け、既にホールボディ検査の協定を締結している公益財団法人震災復興支援放射能対策研究所（平田村：ひらた中央病院内）と甲状腺検査の協定を結びました。年齢に関係なく甲状腺検査を受けることが可能となります。予約制ですので、希望する方はお申し込みください。県民健康管理調査ですでに甲状腺検査を行った方も検査可能ですので、診察日に県民健康管理調査の検査結果をご持参ください。

検査場所 ひらた中央クリニック（福島県石川郡平田村大字上蓬田字大隅30）

検査日及び結果通知方法

毎週金曜日の午後（1時間に6名まで検査できます）

検査のあと2週間後以降に専門医の診察と検査結果の説明があります。

※原則として2回ひらた中央クリニックへ行っていただきます。

対象者

震災当時大熊町民であった方

検査内容

1. ホールボディ検査（6か月以内にひらた中央病院で検査している場合は行いません）
（検査日当日2才以上の方も、検査できるようになりました。2～3才の方がホールボディ検査をする場合、保護者の方も受検していただきます。）
2. 甲状腺の数値を調べるための血液検査（小学生以上が対象）
3. 甲状腺検査
4. 尿中検査（H 4. 4. 1～H24. 1.31生まれの方）
尿中ヨウ素を調べます。

検査料金

料金は無料ですが、現地までの交通費は負担ください。

申込方法

大熊町役場会津若松出張所 保健センターへお電話ください。

※検査希望の方が以前ひらた中央クリニックでホールボディ検査を受けたことがある場合は、「いつ検査したか」うかがいます。

ホームページに申込用紙を掲載します。ダウンロードの上郵送またはFAXにて、申し込みいただけます。検査の日にあわせて書類を郵送します。記入して当日持参ください。

検査の流れ（例）

8/2（金）
役場へ予約
↓
8/23（金）検査
↓
9/6（金）
診察・結果説明

【お申し込み・お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 保健センター

保険

国民健康保険高齢受給者証及び後期高齢者医療保険証の交付について

国民健康保険高齢受給者証（70歳から74歳の方）及び後期高齢者医療保険証が平成25年8月1日から更新になり、役場に登録されている避難先の住所へ郵送しています。有効期限の切れた証は、役場住民課までお持ちいただくか、ご自身で細かく切つて破棄してください。

～入院されている方へ～

大熊町国民健康保険及び後期高齢者医療保険へ加入している方で入院されている場合は、**住民税非課税世帯**については、標準負担額減額認定証の申請をしていただくことで、入院時食事療養費および入院時生活療養費が減額となります。該当する方は申請書を送付いたしますので国保年金係までご連絡ください。発効日は申請のあった月の1日からとなります。（認定証を医療機関に提示しないと減額を受けられませんのでご注意ください）

れませんでご注意ください）

また、社会保険等その他の医療保険に加入されている方については、加入している保険から標準負担額減額認定証の交付を受けられる場合がありますので、加入している医療保険の保険者にお問い合わせください。

【標準負担額減額認定証の

有効期限：平成25年度公
発効日：平成25年8月1日から平成26年7月31日までのうち、申請のあった月の1日

有効期限：平成26年7月31日

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
住民課国保年金係

予防接種

風しんワクチン 予防接種費用の 助成について

風しんの免疫を持たない女性が妊娠中に風しんにかかる、と生まれてくる赤ちゃんに、難聴・先天性心疾患・白内障などの症状（先天性風しん症候群）が現れる可能性があります。

ます。

次に該当する方に対して、ワクチン接種費用を助成します。

◆助成対象者

接種当日、大熊町に住民票があり、次の①または②に該当する方

①妊娠を予定または希望している女性

※注意：妊娠中の方は接種できません。妊娠の可能性のない月経中などに接種することを勧めます。接種後2カ月は避妊が必要です。

②妊娠している女性の配偶者

※ただし、以前の妊娠時に抗体があることを確認している方、既に抗体がある方（風しんの罹患歴のある方等）、MRワクチンまたは風しんワクチンを2回接種している方等は除きます。

◆実施期間

平成25年8月1日から

◆助成期間

平成25年4月1日

～平成26年3月31日

◆助成額

全額（償還払い）

◆助成回数

1人1回（MRワクチンまたは風しんワクチンのいずれか1回）

◆助成金申請時に必要な書類

・予防接種助成申請書（必ず朱肉での押印）
・領収書（必ず原本）

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
保健センター

義援金

国・県義援金の第2次追加配分（4回目）のお知らせ

国および福島県より各市町村へ配分された義援金は、7月上旬に開催しました東日本大震災・原子力災害義援金配分委員会において、支給内容を決めましたので、皆様へ支給させていただきます。なお、できるだけ早く皆様へお届けするため、前回と同様、義援金の振込を行った口座へ振り込みさせていただきます。

◆支給対象者

国・県義援金の第2次追加配分（3回目）受給者で、平成25年7月1日時点にご存命の方を対象とします。

◆支給時期

8月中旬より順次振り込みさせていただきます。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
生活支援課

敬老

敬老祝金の 支給について

敬老の日を迎えるにあたり、大熊町敬老祝金支給条例に基づき「敬老祝金」を支給します。

◆受給資格

平成25年9月15日現在、満70歳以上で大熊町に6ヶ月以上住所を有する方

※9月14日までに転出又は死亡された場合は、対象外になります。

◆支給額

70歳以上80歳未満の方
15,000円

80歳以上90歳未満の方

20,000円

90歳以上の方

30,000円

※該当する方には、9月上旬に直接通知します。

◆振込日：10月中旬予定。振込後、別途通知します。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
福祉課福祉係

案内

「おおくまっ子
みんな集まれ」を
開催します

大熊町立小・中学校同級生が再会できる場として『おおくまっ子みんな集まれ』を開催します。今年度は小学生と中学生を分けて開催します。小学生の部開催について次のとおりお知らせします。

◆開催日：9月21日(土)

日帰り

◆開催場所：福島県いわき海浜自然の家

◆対象者：今年度の小学校1年生～小学校6年生

◆参加費：対象者のみ入場料。

昼食無料(宿泊希望者は自己負担)

◆交通手段：各自(自己負担)

※会津若松市からいわき市まで有料のバスを手配する予定です。

◆その他：

※対象者へは後日通知します。

※現在の予定ですので変更の場合があります。

※中学生の部は冬休み中に開催する予定です。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
教育総務課

福島県立双葉高等学校
創立90周年記念
式典のお知らせ

大正12年に県立双葉中学校として開校しました双葉高校は、今年90周年を迎え、10月に記念式典を開催いたします。

同窓生の方で出席を希望される方は、左記の連絡先までご連絡ください。参加希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

日時 平成25年10月12日(土)

受付 8時30分～

記念式典

9時30分～10時30分

パネルディスカッション

10時50分～12時20分

会場 いわき明星大学児玉記念講堂

念講堂

お申し込み・お問い合わせ先

福島県立双葉高等学校

☎0246-29-2701

赤十字復興支援事業
「元氣あっぷぷライ
ブ」の開催

日本赤十字社福島県支部は、復興支援事業として9月8日(日)に「元氣あっぷぷライブ」を開催します。出演は、高嶋ちさ子さんプロデュースの12人のヴァイオリニストと落語家の桂福丸さんです。クラシック音楽と落語の融合をお楽しみください。このライブに1,700人を無料招待いたします。

◆開催日時 9月8日(日)

午後2時～4時

◆会場 福島県文化センター
(福島市春日町5-54)

◆応募方法 ハガキまたはFAXで①ライブ希望、②郵便番号・住所、③氏名(フ

リガナ)④年齢、⑤電話番号、⑥希望人数(2人まで)を明記し左記の日本赤十字社福島県支部へ応募ください。

●全国の求人情報を提供します！
全国550以上のハローワークで受理した最新の求人情報を提供します。

●職業訓練情報を提供します！

●招待者数 1,700人

●応募締切 8月21日(水)

●消印有効 ※8月28日(水)に当選ハガキ(入場券兼用)を発送。応募者多数の時は抽選、落選通知はありません。

お申し込み・お問い合わせ先

日本赤十字社福島県支部

☎024-545-7996

FAX 024-545-7923

相談

ハローワーク会津
若松からのお知らせ

8月からは、ハローワーク会津若松において相談を実施します。

皆さま一人ひとりの状況や希望に応じて、専門の相談員がマンツーマンでお話しを伺います。

●個々に合わせた就職支援プログラムで就職までの道のりをバックアップします！

●全国の求人情報を提供します！

●職業訓練情報を提供します！

●再就職を支援する職業訓練コースの情報を提供します。

お申し込み・お問い合わせ先

ハローワーク会津若松

(震災特別相談窓口)

☎0242-26-3333

(担当 松尾)

会津地域若者サポート
ステーションからの
お知らせ

会津地域若者サポートステーションとは、仕事に就くことへの不安や人と話すのが苦手であるなどの理由で社会への第一歩を踏み出せないでいる若者と、そのことに関して心配しているご家族が気軽に相談できる就労支援施設であり、厚生労働省の認可を受けて次のとおり相談業務を行っています。

対象 15歳～39歳までの

若者とそのご家族

場 所 ヨークベニマル一

箕町店 隣接テナント

利用時間 平日午前10時～午後7時

お問い合わせ先

会津地域若者サポート

テーション

☎0242-32-0011

(担当 吉岡)

FAX 0242-37-0301

E-mail: info@job-sapo.com

震災遺族のための支援事業について

東日本大震災から2年。「時間が経つても気持ちの整理がつかない」「亡くなった人のことをいつも考えてしまう」。そんなお気持ちを安心してお話しただけの場所があります。NPO法人ライフリンクでは、震災で大切な人を亡くした方からの電話や手紙をお待ちしています。気持ちを語り合う「わかちあいの会」も各地で開催しています。「同じ体験をした人と話したい」「誰かに気持ちを聞いてほしい」。そんな時、もしよろしければ、ご連絡ください。

ずれも、秘密は厳守されます。

【電話】

死別・離別の悲しみ相談ダイヤル (0120-556-338)

毎週日曜日と毎月11日の午前10時～午後8時。通話無料。

岩手、宮城、福島県からのみ通話できます。

【手紙】

死別・離別の悲しみつづり箱

(〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-5

多幸ビル九段5階「死別・離別の悲しみつづり箱」宛)

有志の僧侶が、お返事いたします。時間はいただくかもしませんが、必ず返信いたします。

【わかちあいの会】

遺族の方々が思いを語り合う会です。福島県内では、福島、郡山、会津若松、南相馬

で行っています。詳しい日時や場所についてはお問い合わせください。

お問い合わせ先

NPO法人ライフリンク

☎03-3261-4934

試験

平成26年度双葉地方広域市町村圏組合職員採用試験のお知らせ

双葉地方広域市町村圏組合職員採用候補者試験を次に行います。

◆試験職種

消防

◆採用予定人員

14名程度

◆職務内容

消防業務に従事します

◆申込受付期間

7月16日(火)から8月15日(木)まで

◆試験の期日

第一次試験

期日：9月8日(日) 午前9時より受付

場所：広野町サッカー支援センター内

○第二次試験

期日・場所については、第一次試験合格通知でお知らせします

※受験手続等、詳しくは双葉地方広域市町村圏組合事務

局総務課へお問い合わせください。

お問い合わせ先

双葉地方広域市町村圏組合事務局総務課

☎0240-27-4665

県税

平成25年度個人事業税の課税のお知らせ

県では、平成25年度個人事業税の納税通知書を8月9日に発送しますので、納期限である9月2日までに納付をお願いいたします(課税額が1万円以上の場合、9月と11月の2回に分けて納付していただく

お問い合わせ先

福島県相双地方振興局県税

部 課税第一チーム

☎0244-26-1126

快適な共同生活のための「お願い」

応急仮設住宅やアパート等の集合住宅は駐車場も含めて、生活形態、考えの異なるさまざまな方々が共同で利用し、一つ屋根の下で生活を営む『場』です。

ご自身では気付かぬうちに、他の居住者にご迷惑をかけている場合もあります。普段では気にならないさまざまな音や行動でも、早朝や深夜の時間帯や受験生、病弱者、ご高齢者及びそのご家族の皆さまにとっては神経が過敏に反応します。

これぐらいならと思う考えも、他の居住者の方には理解できず迷惑になることもあります。

他の居住者に対する、ほんの少しの心配り・気配りが快適な共同生活につながりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

原子力損害賠償に関する無料相談会のご案内

原子力損害賠償支援機構では、避難されている大熊町の皆様向けに、下記のとおり相談会を順次開催いたします。相談会では、法律の専門家である弁護士及び行政書士が、ご質問やご相談に対応させていただきます。

相談事項例

- ・未登記・相続未了の土地の賠償はどうなりますか？
 - ・東電の賠償で納得いかないが、どうしたらよいですか？
 - ・ADRへ申立てをしたいが、どのようにしたらよいですか？
- ※その他損害賠償についてわからない事は、何でもご相談ください。

【いわきエリア】

開催日時：平成25年8月24日（土）
開催場所：「いわき市文化センター」
（1F大講義室）
住所：いわき市平字堂根町1-4

【会津若松エリア】

開催日時：平成25年8月31日（土）
開催場所：「會津稽古堂」（3F研修室1）
住所：會津若松市栄町3-50

【郡山エリア】

開催日時：平成25年9月8日（日）
開催場所：「ビックパレット」
（1Fマルチパーパスルーム2）
住所：郡山市南二丁目52番地

【福島エリア】

開催日時：平成25年9月15日（日）
開催場所：「アオウゼ」
（MAXふくしま4F視聴覚室）
住所：福島市曾根田町1-18

開催当日の スケジュール

- | | |
|-------------|--------------------|
| 10:00~11:30 | 弁護士による損害賠償に関する全体説明 |
| 11:30~12:30 | 個別相談 |
| 12:30~13:00 | 休憩 |
| 13:00~16:00 | 個別相談 |

※個別相談（1組1時間）は、事前予約をお願いいたします。

【主催】原子力損害賠償支援機構

お問合せ&個別相談予約 ☎0120-330-540（受付時間 年中無休 9:00~17:00）

がんばろう会津 負けるな大熊 会津東山盆踊り

今年も会津東山盆踊りが開催されます。この盆踊りは、東山温泉を流れる湯川の上に大きなやぐらを建て、盛大に行われます。

16日の盆踊りには渡辺町長も出席し、「会津磐梯山」に加え、大熊町民にもお馴染みの「相馬盆唄」が流れますので町民の皆さんもぜひご参加ください。

◆日時 8月13日（火）～16日（金） 午後7時10分～午後9時30分

- 13日 福島民報の夕べ（女将さんと踊ろう）
- 14日 社交部会の夕べ（コンパニオンと踊ろう）
- 15日 福島民友の夕べ・東山芸妓の夕べ
- 16日 会津若松市民・大熊町民盆踊り

◆場所 会津東山温泉

※東山共同駐車場をご利用ください。
会場まで無料シャトルバスが運行します。

【お問い合わせ先】 東山温泉観光協会 ☎0242-27-7051（代表）



シルバークッキング

8月の日程のお知らせ

回数	日時	場所	内容
2回目	8月22日(木) 10時~12時	会津若松市 勤労青少年ホーム (会津若松市城東町 14番52号)	簡単!らくらくクッキング (予定)俺でもできるかんたん丼 ・あまり物でもまかせろ丼 など

◎対象：概ね65歳以上の男性 ◎参加費：実費（300円程度）

◎持参物：エプロン・三角巾

※申し込みは随時受け付け中です！

※1回目（6月）に申し込みをいただいている方は、申し込みの必要はありません。

【お申し込み・お問い合わせ先】

大熊町役場会津若松出張所 保健センター フリーダイヤル 0120-26-3844

運動教室のご案内

震災後、友人と会う機会が減ったり、畑仕事やガーデニングなど、やっていた事ができなくなってしまった方々が多いかと思います。そこで、体を動かす機会や人と触れ合う場として「いきいき教室」を始めています！

みんなで楽しく話をしながら簡単な体操をしましょう！



日時	8月20日(火) 午前9時30分~午前11時30分
場所	大熊町役場いわき連絡事務所 2階
内容	血圧測定、筋力低下防止のための軽い運動、個別相談
準備物	水分補給のため飲み物（水やお茶）、タオル
講師	いわき はり・きゅう介護予防チームの先生

*参加される方は、8月19日(月)までに、電話でお申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

大熊町役場いわき連絡事務所 フリーダイヤル 0120-26-567

おおくま町会津会からのお知らせ

下記のとおり賠償相談会を開催いたします。お気軽にご参加ください。

<p>日 時 平成25年 8月31日(土)</p> <p>全体説明会 10:00~11:30</p> <p>個別相談会 11:30~16:00</p>	<p>場 所 會津稽古堂 (会津若松市栄町3番50号)</p> <p>内 容 財物の損害賠償について</p> <p>主 催 原子力損害賠償支援機構</p>
--	--

※相談は無料ですが、事前予約が必要です。※予約ダイヤル：0120-330-540
※8/21(第3水曜日)は中止になります。

【お問い合わせ先】 おおくま町会津会 ☎090-7078-2327 (山本)

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ 大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」のご案内

8月の定例会は以下の通り開催します。

- ◆日 時 8月24日(土) 9:00~12:00
- ◆場 所 社団法人茨城県産業会館
(水戸市桜川2-2-35)
- ◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用ください
- ◆内 容 弁護士による種々の法律勉強会および
個人相談
- ◆その他 町民同士の情報交換

【お問い合わせ】
野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608
Email: tomohiro-n@higashi-t.com

千葉県に避難している皆さんへ 実行委員を募集!

11月に千葉で開催するイベントの実行委員を募集しています。「実行委員になってもいいよ」と思う方は、ぜひご連絡ください。

- 第1回実行委員会
- 日時：8月3日(土) 13:30~16:00
- 場所：千葉市きぼーる11階
(千葉市中央区中央4丁目5番地1号)
- ※8月3日以外にも参加できる方はご連絡ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
(通称NPOクラブ) ☎043-303-1688


埼玉県へ避難している皆さんへ 輪になろう!ふみ出そう! 『ひまわりサロン』

- ◆日 時 8月8日(木)
10:00~12:00 絵手紙
- ◆場 所 やすらぎ会館
(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)

東日本大震災で被災地から
東日本大震災の被災地から避難されてきた方にお知らせ
輪になろう! ふみ出そう!

■ひまわりサロン■

お茶を飲みながら、
ふるさとの言葉で
楽しいおしゃべり、



●日 時 平成25年8月8日(木)
10:00~12:00 絵手紙

ふるさとのあの人に・・・
離れて暮らしている家族に・・・
絵手紙を送りましょう▼

- 場 所 やすらぎ会館
- 参加対象 大震災で移られた方、地域の方
- 主 催 「ひまわり」の会

080-5431-0123 島田 陽子

【お問い合わせ】
ひまわりの会 ☎080-5431-0123 (島田)

à la carte

あらかると

大川原地区先行除染の結果



除染による低減効果（地上1mの空間線量率）

土地区分	除染前の平均値 (マイクロシーベルト / 時間)	除染後の平均値 (マイクロシーベルト / 時間)	低減率
宅地	2.33	0.93	60%
農地	4.08	0.75	82%
森林	5.20	3.93	24%
道路	2.58	1.16	55%

- ・ 今回の除染対象の大部分を占める農地については、低減率が最も高い。
- ・ 宅地と道路についても、50%以上の低減率となっている。
- ・ 森林の低減率は低い。



除染前後の空間線量率